

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 86

竹原運輸株式会社

発行日 平成 30 年 11 月 15 日



★事務所スタッフからの一言



皆様、いつもお世話になりありがとうございます。日頃は格別なるご厚意を賜り、心より御礼を申し上げます。

「安全第一を考える」

このテーマに取り組んでいますが、なかなかゼロ災害ということが実現しません。ちょっとした気の緩みや、勘違い、思い込みなど、技能の問題ではなく精神的な問題での事故がどうしても無くなりません。

AI の普及により、自動運転の車が増えてくれば確実に事故は減るでしょう。なぜなら AI は運転に特化しているから・・・。

AI はものすごいデータを収集して運転に集中して車を動かします。方や人間は、運転しながら、音楽を聴いたり、考え事をしたり、爽快な気分になったりして、運転そのもののプラス多くの情報収集活動をしています。だから間違いが起きる可能性が高いのです。

解決法は、運転時には運転以外のことを考えられないように、脳のある部分をシャットアウトするときと事故は減るのではないのでしょうか？そんなことを考えながら

「今日も安全第一を考えます」

竹原和行

平成 30 年度下半期 竹原運輸(株) 安全大会・全体会議を開催

10 月 14 日（日曜日）福井県中小企業産業大学校 大教室
午前 9 時～午後 12 時 参加数 118 名

1. 無事故・無災害表彰式

前回の安全大会より本日まで無事故・無災害を達成した全社員 77 名

2. 小集団活動報告

整備・環境部会→安全運転に向けての確実な整備点検
運行前点検のやり方を自社にて動画作成しました。

人づくり部会→ドライブレコーダーの映像より安全づくり
自社内の危険映像を分析しヒヤリ・ハット、防衛運転に役立つ映像
を作成しました。

3. 特別講演

演題 「運行前点検表を基にして、なぜ点検が必要か」
福井モータース株式会社 部長 山本様

以上の内容で開催しました。今回は具体的な運行前点検のやり方、タイヤチェーンの装着方法を研修する内容で、お取り先企業のドライバーさんが多数参加されました。

又、弊社では来月にタイヤチェーンの装着講習会を自社にて開催します。今後は、タイヤチェーンを装着しないと走行できない区間が国土交通省より指定されることになっています。

これから冬期に入ります。冬期の走行に備えて、万全の準備体制で臨み、更なる安全運行、お客様から信頼される会社づくりを目指してまいります。



社長 竹原正和

仕事と生活の充実は心身の健康から

社員が健康で働くことが出来る職場作りは、会社としても、私たちにとっても最も重要な取り組みだと思います。先日、トラック協会様主催で『過労死等事故防止、健康起因事故防止セミナー』の研修を受けさせてもらうことができ、最近過労死事故等の多発が大きく社会問題となってきた中、職場におけるメンタル対策や（当社ストレスチェック 11/14 実施）過重労働による健康起因障害防止策が大きな課題となって来ており、最近若手の人材の入社も少なく、当社のドライバーも平均年齢も間もなく 50 才台に突入するほどに比較的が高くなってきているのでドライバーの健康管理をしっかりと充実させ、いつまでも元気で働いてもらえるような職場の環境作り（社員同志の交流を深めストレス解消）に努めています。

また、全国健康保険協会（協会けんぽ）の福井県支部の実施している「健康経営」の「メンタルヘルス健康」宣言をいち早く申請をして健康宣言事業所に仲間入りをさせていただきました。

まず、取組の第 1 宣言は全従業員の健診を 100%受診すること。

今年も当社は 11 月 17 日（土）産業医の指定病院に依頼して、全員がストレスチェック検診と共に受診を致します。

第 2 の宣言は禁煙や受動喫煙の防止を社内事務所にステッカーを貼付け努力をしております。第 3 の宣言は過重労働防止であり、体調不良で休んだ場合でも業務の仕組みを出来るだけ改善し、荷主様にも無理をお願いしながら繁忙期等は多少の残業は発生するものの、早く自宅へ帰れるよう努力し体調不良の場合に限らず、どうすればドライバーにもっと会社を休ませることが出来るか力を注いでいます。

年末年始、お盆休みを増やしたり、有給休暇をもっと取得しやすくしドライバーのリフレッシュを促しています。

体力面の健康状態を把握していく観点からは、数年前より血圧計を導入し点呼場に設置し、自分の血圧を記録し再認識をしてもらっています。

10 月 1 日からは助成金を活用して、業務用の新型の大型血圧計を導入してもらい、印字されて出てくる血圧の紙を、さらに別紙に記録して、印字されて出てきた用紙は自分で持って仕事をスタートするように 2 重のチェックをドライバー自ら行なっています。

併せて協会けんぽから配布されてくる「体に良い食事とは」等々のパンフレットを社内の掲示板に掲示し、ドライバーが健康維持して行くために積極的にみんなが笑顔で働ける会社作りに努力をしています。

今夏も休憩室のエアコンを最大限に活用し、帰社して来るドライバーに冷やしい環境作りをしたり、熱中症の防止のために塩飴をテーブルの上の籠に入れ自由に持っていけるようにして、ドライバーが火照った体をクールダウンできるように、快適に過ごしてもらおうようにしています。メンタル面に於いても事務所内の社員は積極的に声をかけコミュニケーションを取るようにはしております。

社員が心身共に健康でなければ事故防止にもつながっていかないし、仕事へのやりがいも出て来ません。このように皆が笑顔になる会社作りに努力を傾注している最中です。



斉藤 洋一

内閣府の国民生活に関する世論調査によりますと、現在の生活に満足している人は74.7%もいらっしゃるようです。「今後は心の豊かさを重視したい」との回答は61.4%で、「物の豊かさに重きをおきたい」の30.2%を大きく上回っているようです。

一方、日頃の生活の中で「悩みや不安を感じている」と答えた人は63%おり、「感じていない」の2倍近くになっているそうです。

戦後の物不足を必死になって生き抜いてきた人たちが、物が足りない時代は過去となり、断捨離ブームまで生まれました。バブル崩壊後からリーマンショックなどの長い景気低迷は私たちの人生観まで変えてしまったのでしょうか。

核家族化と同時に、家族が別々のスケジュールで生活するようになっていきますね。テレビや冷蔵庫も複数所有になっていますし、電話も家族共有ではなく一人一台の携帯電話が当たり前になりました。

昔の家は障子とふすまで仕切られており何事も筒抜け状態(笑)。赤ちゃんの産声が聞こえたり、祖父母が静かに息を引き取るのを涙で見送ったような家だったそうです。

肩を寄せ合っただんらんがあっつて、そんな中で子供たちに思いやりが生まれ、しつけができた。(情景が思い浮かびますね)

物の豊かさが孤立を進め、地域社会の絆も希薄になろうとしているのではないのでしょうか。仕事の内容もそんな気がします。メールやメールの転送に振り回され希薄なおつきあいで何か一つ物足りないような気がします。(物があるのに)。やはり何事も膝と膝を突き合わせてじっくりと話し合いをするべきだと思います。筒抜け状態を願っているのに重い鉄の扉で仕切ってしまうのです。日本人なので障子やふすまでいいと思うのですが。

もうすぐお正月です。家族、友人、親戚と肩を寄せ合うだんらんなどができよう。

本年中も大変お世話になり有難う御座いました。



池上則和

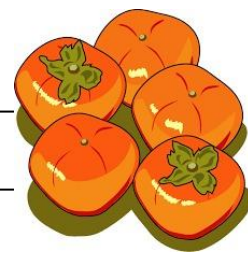
朝夕の冷え込みも一段と厳しくなってきましたが、皆様お元気でしょうか？ 日頃よりご愛顧頂き誠にありがとうございます。

暦の上では立冬も過ぎましたが、実際にはようやく紅葉が本格的に見頃を迎えた頃で、まだまだ紅葉も、秋の味覚も楽しむことができますね！ そんな秋の味覚といえば、栗、さつまいも、松茸、さんまなどがありますが、私たちの一番身近な味覚といえば、柿ではないでしょうか？ そんな柿を通して改めて考えさせられた事を今回は書かせて頂きます。

先日、羽咋の乗務員が皆さんで食べて下さいと、家で採れた柿を20個ほどスーパーのレジ袋に入れて持って来てくれました。そのまま休憩室のテーブルの上に置いておき、午前中に帰って来た乗務員に、食べるよう勧めておりました。ですが、袋の中を見るだけで誰一人食べようとも、持っていかうともしません。昼になっても、全くその状況は変わらなかったのので、私も一度確認しようと袋の中の柿を見てみました。すると20個程の柿の二つが、完全に熟れていて、そのどろどろの果肉と果汁が他の柿についてネトネトしていて、とても手を入れて取り出せるような状態ではありません。そこで、柿を全部取り出して熟れた柿は処分し、それ以外の一つ一つを水洗いし、乾いた布巾で丁寧に拭き上げると、同じ柿とは思えないくらい光沢が出て、とても美味しそうな柿に生まれ変わりました。それをお盆に見栄えよく並べて、改めて午後から休憩室に置いておきました。するとどうでしょう！ 帰って来た乗務員たちは、口々に美味しそうな柿ですね！ と言って、その場で皮を剥いて食べたり、持って帰ったりと夕方までに全てなくなってしまいました。

私は、午前中に柿が全く見向きもされない時に、もし、柿を持ってきてくれた乗務員が、次の日に一つも減っていない柿をみたら、どんな思いをするだろうと思い、出来る事をしただけですが、同じものでも少しの気(情)を掛けるだけで、これだけ結果が変わることに大変驚きました。それは、今回の事だけではなく、乗務員とのコミュニケーションの中でも、常日頃から感謝の気持ちと、ほんの少し気(情)を掛ける事は、物凄く大事な事だと改めて思った出来事でした。

今年最後のハート通信となりました。お体に気を付けてお過ごしください。一年間ありがとうございました。



大橋 哲夫

いつも大変お世話になりありがとうございます。

寒い冬が間近に迫り、心なしかせわしない気持ちになる時期です。

スノータイヤへの交換や、インフルエンザの予防等の準備事項。又、タンクローリー部門の繁忙期への期待と心配事やドライバーの自己管理促進。それに美味しい食べ物と欲望の葛藤が恒例の行事みたいになっています。

最近では一冬乗り切る為にできる事を実行宣言しないと、心が折れてしまいそうになるので、いろんな場所で宣言して自分にプレッシャーをかけて原動力にさせて頂いております。

辻川 伸吾



気温が徐々に下がってきて冬に近づいてきました。気温が下がってきたとはいうものの、平年に比べ気温が高い気がします。

11月といえば冬の準備を始める時期でもありますね。当社でもトラックのタイヤ交換の始まる時期です。全国的にも11月頃からトラックのタイヤ交換時期です。

そして、このスタッドレスタイヤの交換時期というのはトラックのタイヤが脱落する事故が増える時期でもあります。11月～1月が年間通じて一番事故が多くまた危険な時期です。主な要因としてナットの締め付け不足、ボルト折損等があります。トラックのタイヤは1つ100kgほど重さがありますから、そんなものが飛んできたら恐ろしい事になりますよね。

注意するといってもどうしようもない事ですけどこの時期は特にトラックとの車間をあけたり、離れて走行するのがよいかもしれません。また、トラックのスタッドレスタイヤはタイヤの溝が深いです。そこによく小石等が挟まって、走行中にとんでくることもあります。小石が飛んできて、フロントガラスに当たるとガラスがひび割れたり、最悪の場合割れてしまうこともあるのでそこも気を付けてください。

また、雪が積もって来ますとトラックに積もった雪が走行中に風で飛んできてくる場合もあります。それも車に当たるとへこんだりしますのでそこも注意です。

この11月から3月ぐらいまでは、いつも以上にトラックと車間をあけて、また距離をとって走行する事をおすすめします。



谷口 学

朝夕の寒気が身にしみる時節となりました、皆様いかがお過ごしでしょうか。

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体2018」もあっという間に終わってしまいました。

福井県勢は50年ぶりに天皇杯獲得（男女総合成績）、初の皇后杯（女子総合優勝）を獲得致しました。ある選手のインタビューの中で、会場に来られた地元の方の応援がとても励みになり、今まで以上の力を出す事が出来たから1位になれた、応援の力は本当にすごいと言われていました。

選手の皆さんの中には、学校が終わってからの練習、仕事を終えてから練習をされているのだと思うと頭が上がりません。

私達の仕事はお客様から、お荷物を預かりお届け先に無事に届ける事です。お客様から、いつもありがとう、気を付けてなど声を掛けて頂いた時には、いつも以上に今日も安全運転・安全作業で頑張るぞと励みになります。

今年も後わずかですが風邪などひかない様に、また体調など崩さない様に・・・



越 邦治

いつもお世話になっております。11月の上旬ですが、寒暖差が激しく体調管理に苦労します。

当社では11月に健康診断とインフルエンザの予防接種を実施しております。毎年の行事ですが、なるべく良い結果を出したいと、無駄な努力と思いながらも1ヶ月前ぐらいから食事を調整したり、間食を控えたりしています。

最近、テレビでダイエットに良い「おからパウダー」、体に良い「鯖の水煮」などが放映されていますが、翌日買いにいくと必ずと言っていいほどスーパーには品薄になっています。

特に「おからパウダー」は何店舗も探しましたがなくて、自分で作ることにしたぐらいです。やっと最近になって見つけて購入しました。私だけでなく、影響されている人が一杯いることが分かります。(水谷さんとの会話もテレビの内容になり、私と同じような事をしているので・・・(笑))

体に良いと思い頻繁に使い飽きたりもしますが、「鯖の水煮」「いわし缶詰」が思っていたよりかなり美味しくびっくりしました。これからも夕飯のメニューに取り入れるつもりです。

皆様も食生活に気をつけて、健康な体づくりに心掛けて下さい。今年最後のハート通信となりましたが、来年も宜しくお願い致します。



吉川 佳代

いつもお世話になりありがとうございます。秋はスポーツの季節ですね。

我が家でスポーツといえば卓球です。「今度のお休みに健康の森に連れてって～」とよく言われます。(健康の森まで連れてくのは面倒だな・・・)なんて思っていたのですが・・・そんなやり取りを見ていたお婆ちゃんが卓球台を買ってくれました～！！

小屋の2階に卓球台を設置し、ピンポン球が階段から落ちないように緑のネットまで張ってくれました。

子供たちは大興奮で「勝負しよ！」と勝負を申し込んでくるので私も一緒に卓球をやっています。一番下の子には手加減して勝負しているのですが、上の子2人には手加減なしで勝負しています(2人共卓球部なので)。反対に私の方が手加減をしてもらっている感じです。それでもスマッシュが入ると大人気ないのですが、ガッツポーズをしながら叫んでいる私があります。子供には内緒で主人と練習して腕を上げなければ・・・

もしかしたら年明けには引き締まったBODYになっているかも(笑)

今年一年間ありがとうございました。



水谷 有基
次回もお楽しみに・・・